

# 「投資」のビットコイン、「決済」のステーブルコイン



## ビットコイン (BTC) 成熟する投資資産



2010年代に比べ  
**ボラティリティは低下**  
(それでも価格変動は大きい)



ポートフォリオの一部として保有  
(なくてもいいくらいのスタンスでも)



金商法適用で  
**ETFなど金融商品化が進む**



税制の見直しで  
**新たな投資家の参加が期待**

## 日本で進む制度の大転換

資金決済法  
(暗号資産)



**金商法**  
(新たな金融商品)



**2026年7月15日 改正法成立**  
暗号資産取引の規制を  
資金決済法から金商法へ  
※ 2027年に施行予定



**税制見直しの方向**  
**20%**の申告分離課税、  
3年間の損失繰越、  
暗号資産ETFへの税制措置 など  
※ 2028年から適用予定



**伝統的金融機関の参入**  
銀行・証券・保険などの参入余地が拡大し、  
既存の暗号資産交換所の競争激化・  
業界再編が進む可能性

## ステーブルコイン 拡大する金融インフラ



**法定通貨と価値を連動**  
価格が安定し、決済・送金に適している



**24時間・国境を越えた送金・清算**  
国際送金や貿易決済、Web3でも活用



**金融・決済サービスとの融合**  
銀行・決済会社・証券など幅広い業界で導入



**日本でも制度整備が進展**  
2023年に電子決済手段として制度化。  
2026年6月に関連制度が開始し、円建てSCの  
活用も進む (JPYC・JPYSCなど)。

今後の  
市場構造



伝統的金融機関の参入



新規投資家の流入



既存交換所の競争激化・業界再編

**BTCは「投資商品」へ、ステーブルコインは「金融インフラ」へ。**

暗号資産市場は“価格を追う時代”から“使われる時代”へ。